



富山県内経済情勢

(令和4年7月判断)

令和4年7月

財務省北陸財務局

富山財務事務所

〒930-8554 富山市丸の内1丁目8番10号
(北陸銀行・堤商事富山丸の内ビル5階)
TEL(076)432-5522(財務課直通)
<http://hokuriku.mof.go.jp/toyama/>

富山県内経済情勢

令和4年7月

財務省北陸財務局富山財務事務所

県内経済は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

※令和4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：持ち直しつつある。

百貨店・スーパー販売

衣料品に動きがみられることから、持ち直しつつある。

コンビニエンスストア販売

米飯類に動きがみられることから、堅調となっている。

ドラッグストア販売

飲食料品等に動きがみられることに加え、新規出店効果もあって、順調となっている。

ホームセンター販売

日用品の動きが鈍いものの、園芸用品等に動きがみられることから、前年並みとなっている。

家電大型専門店販売

エアコンに動きがみられるものの、テレビの動きが鈍いことから、横ばいの状況にある。

新車販売台数

普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回っており、弱含んでいる。

主要観光地の来訪客数

前年を上回っている。

主要温泉地の宿泊客数

前年を上回っている。

設備投資：4年度は増加見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（4年4-6月期調査））

製造業は減少見込みとなっているものの、非製造業は増加見込みとなっていることから、全産業では増加見込みとなっている。

住宅建設：緩やかに持ち直しつつある。

新設住宅着工戸数

緩やかに持ち直しつつある。

公共事業：前年を下回っている。

前払金保証請負金額

前年を下回っている。

生産活動：回復に向けたテンポが緩やかになっている。

化学（医薬品）

持ち直しつつある。

汎用・生産用・業務用機械

ロボット・産業機械が増加しているほか、金属工作機械が持ち直していることなどから、全体では回復している。

電気機械（電子部品・デバイス）

情報通信機器向けを中心に、緩やかに回復しつつある。

金属製品（アルミ建材）

住宅用を中心に緩やかに持ち直しつつある。

プラスチック製品

自動車向けを中心に弱含んでいる。

企業収益：4年度は増益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（4年4-6月期調査））

非製造業は減益見込みとなっているものの、製造業は増益見込みとなっていることから、全産業では増益見込みとなっている。規模別では、大企業は増益見込み、中堅企業、中小企業は減益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「下降」超となっている。（法人企業景気予測調査（4年4-6月期調査））

現状判断（4年4～6月期）は、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。

なお、先行きは、全産業では4年7～9月期は「下降」超、4年10～12月期は「上昇」超となる見通しとなっている。

雇用情勢：緩やかに持ち直している。

有効求人倍率（季節調整値）

僅かに低下している。

新規求人数

前年を上回っている。

新規求職者数

前年を上回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を下回っている。

金融機関の貸出金：前年を上回っている。

企業倒産：前年を下回っている。

件数、負債総額ともに前年を下回っている。

消費者物価（富山市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

富山県内経済情勢(令和4年7月判断)

県内経済は、緩やかに持ち直している。

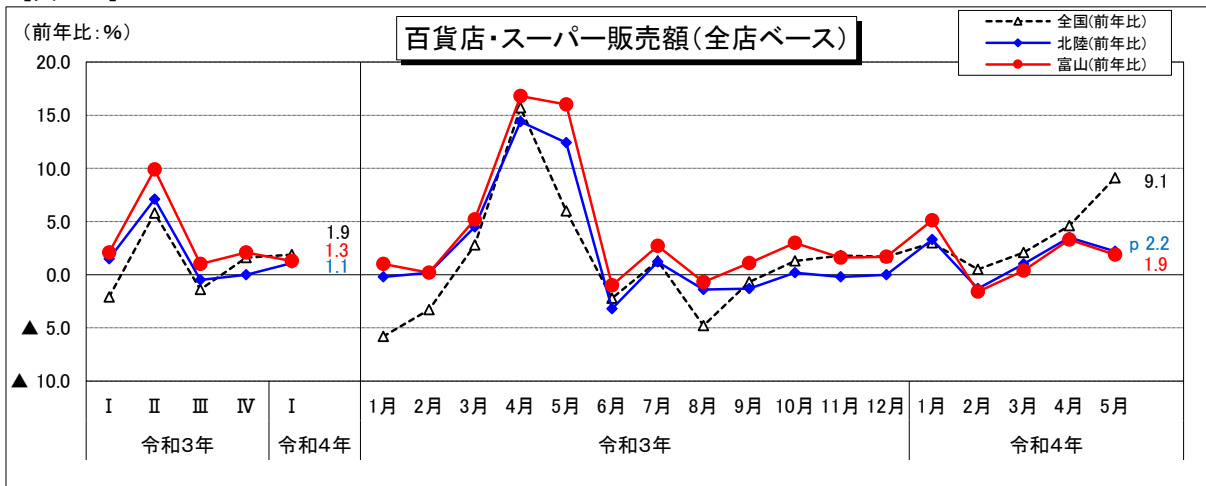
(総括判断のポイント)

- 個人消費は、持ち直しつつある。
- 生産活動は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。
- 雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
- 4年度の企業収益は増益見込み、設備投資は増加見込みとなっている。

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

【個人消費】 持ち直しつつある。

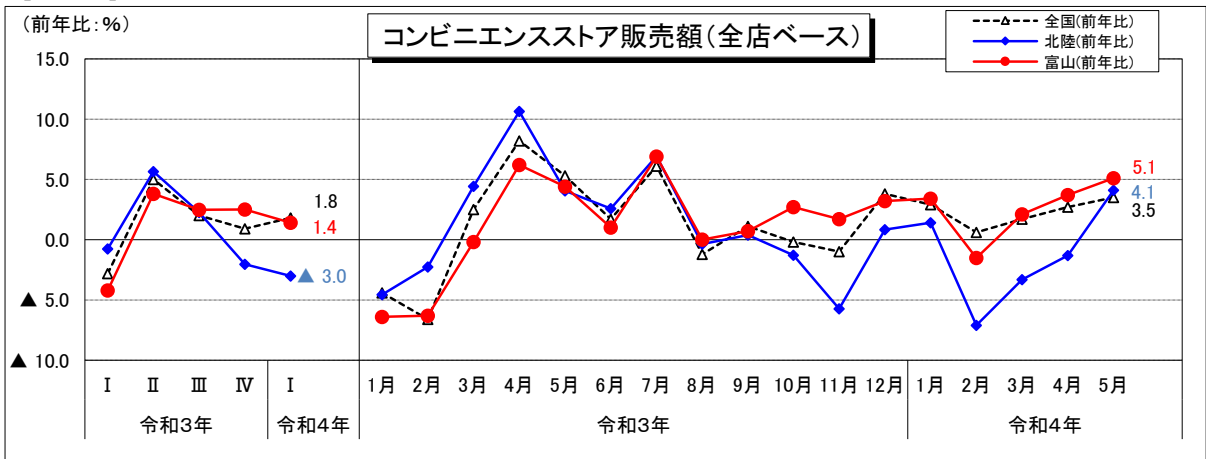
[図 1]



※pは速報値

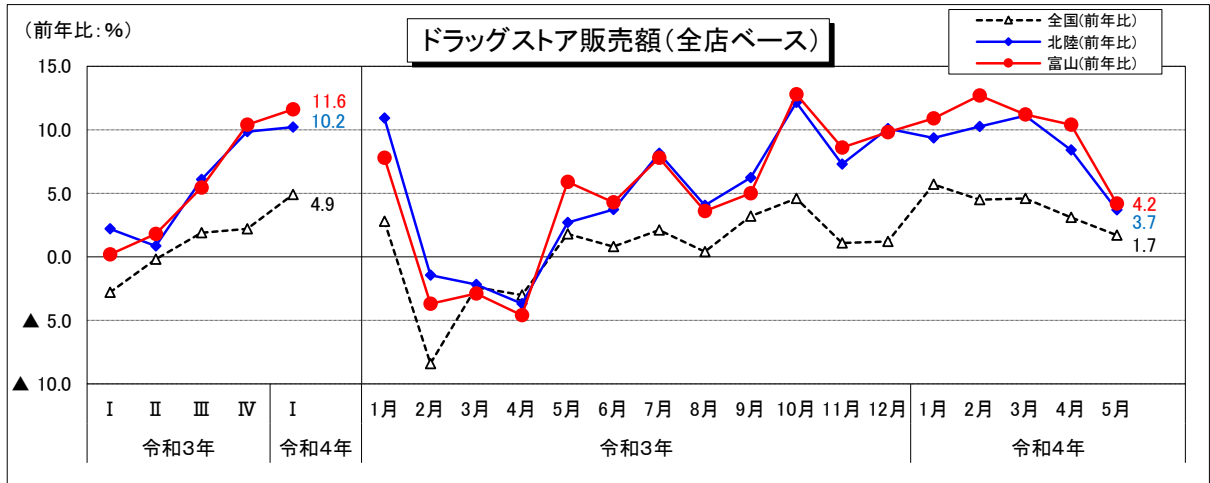
[経済産業省、中部経済産業局]

[図 2]



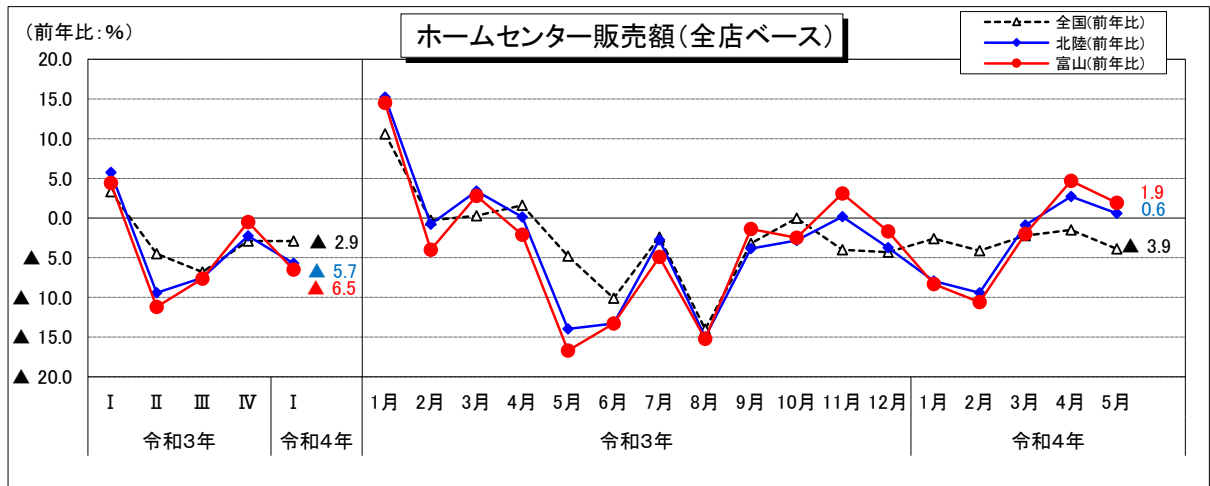
[経済産業省、北陸財務局]

[図 3]



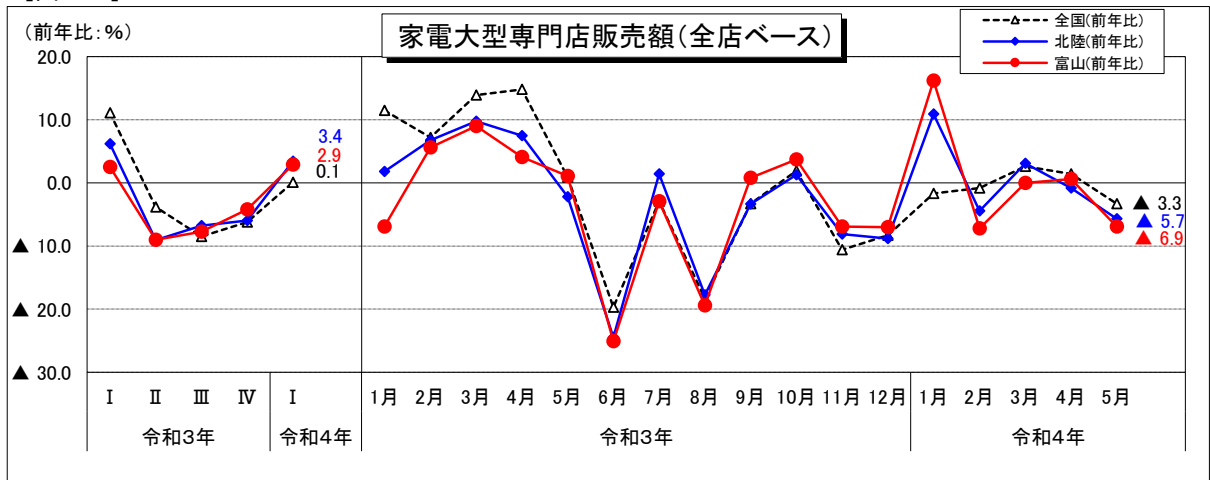
[経済産業省、北陸財務局]

[図 4]



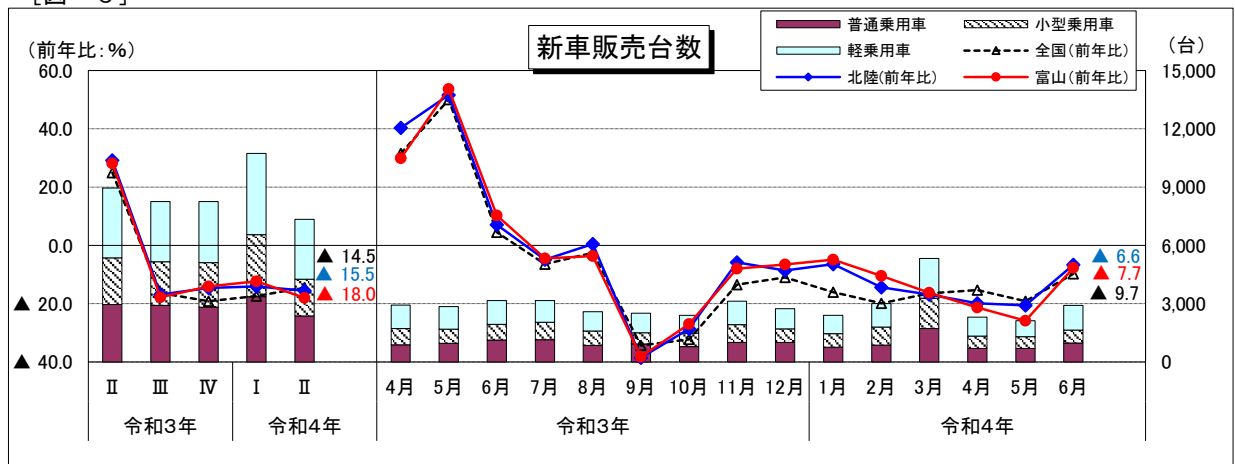
[経済産業省、北陸財務局]

[図 5]



[経済産業省、北陸財務局]

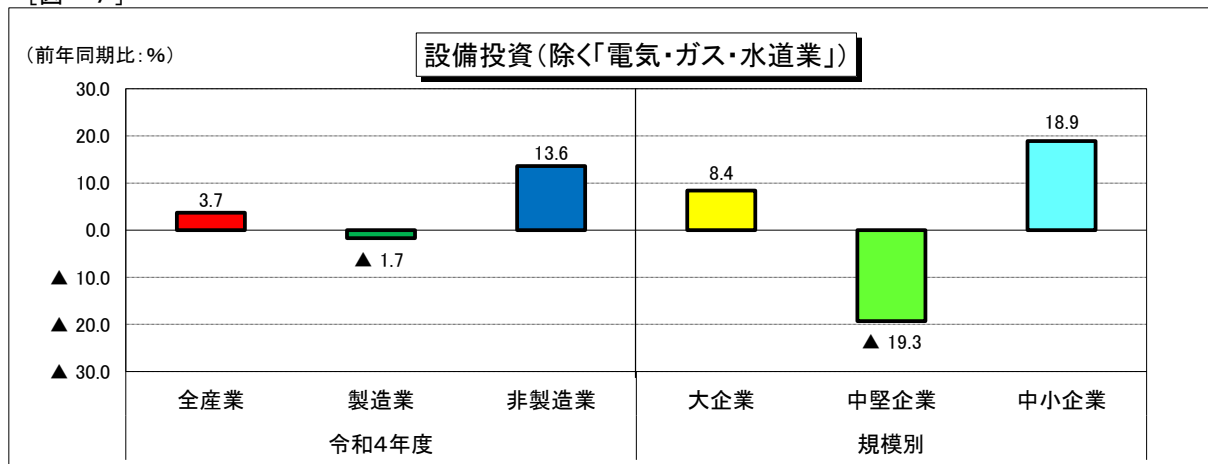
[図 6]



[※注記(1)参照]

【設備投資】4年度は増加見込みとなっている。

[図 7]

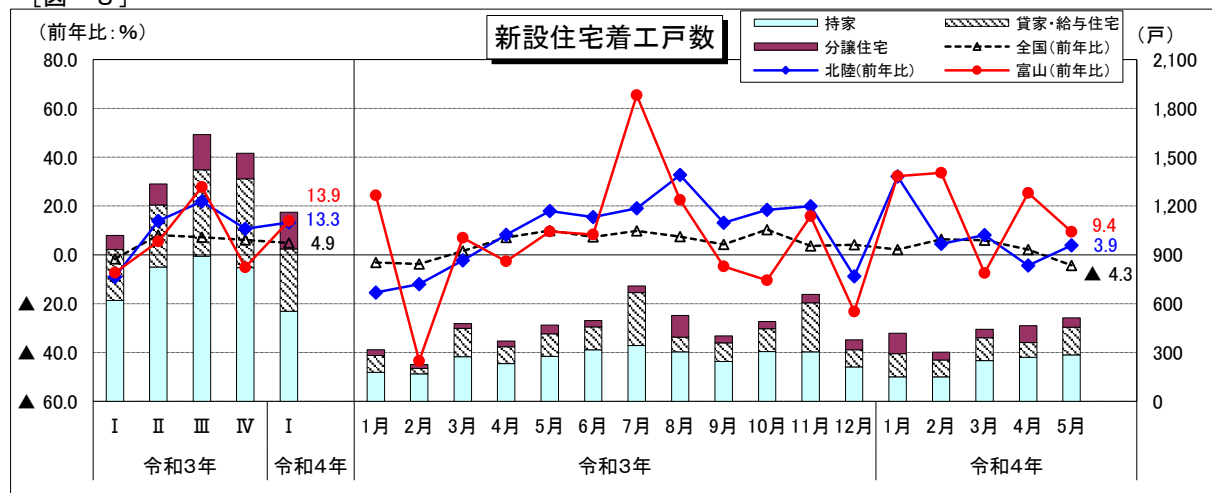


※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額は含まない。

[法人企業景気予測調査(4年4-6月期調査)結果]

【住宅建設】緩やかに持ち直しつつある。

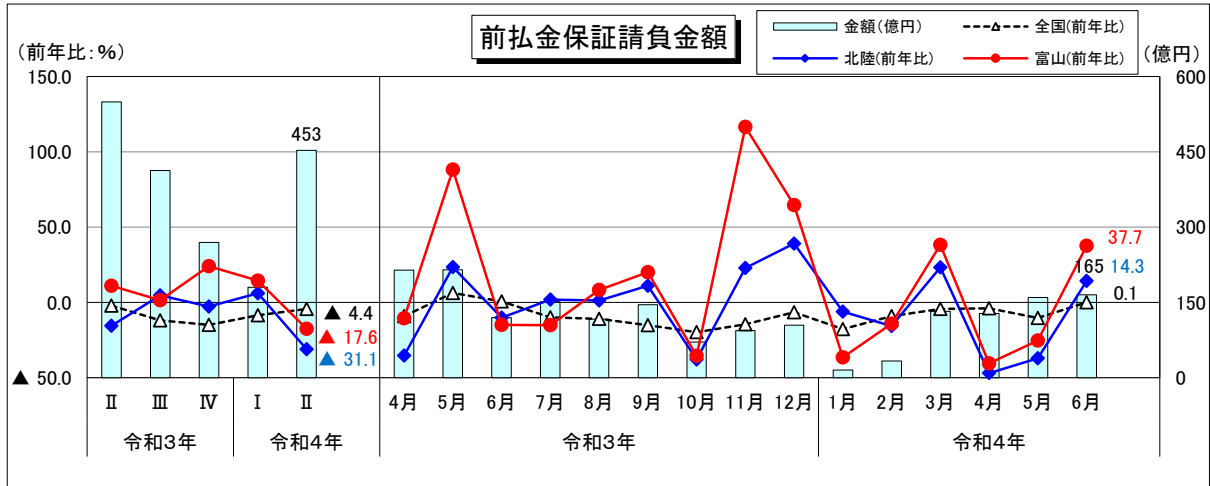
[図 8]



[国土交通省、北陸財務局]

【公共事業】前年を下回っている。

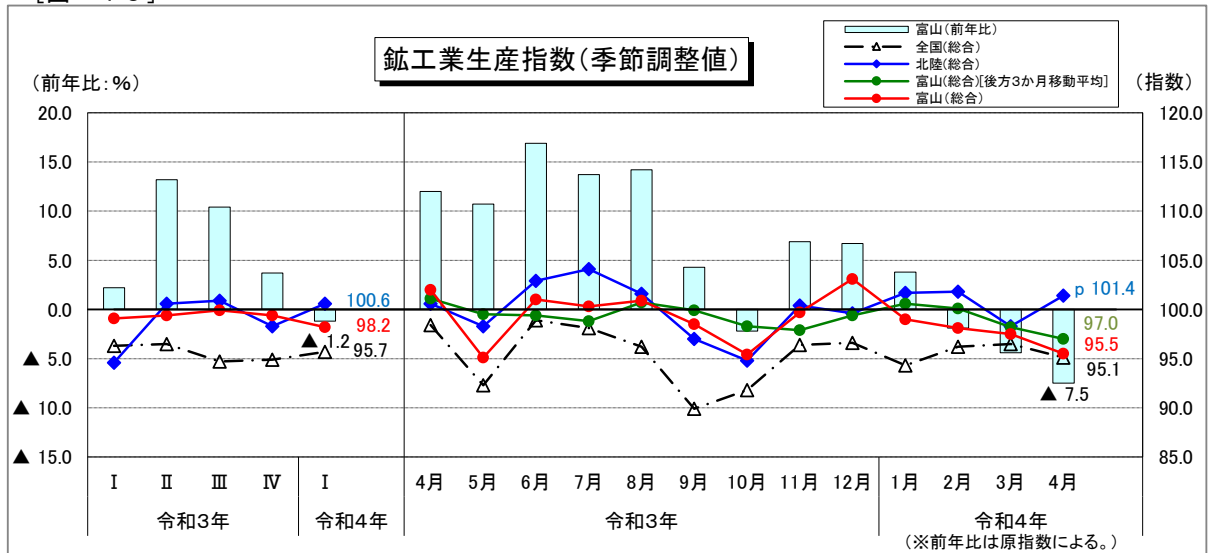
[図 9]



[北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)、北陸財務局]

【生産活動】回復に向けたテンポが緩やかになっている。

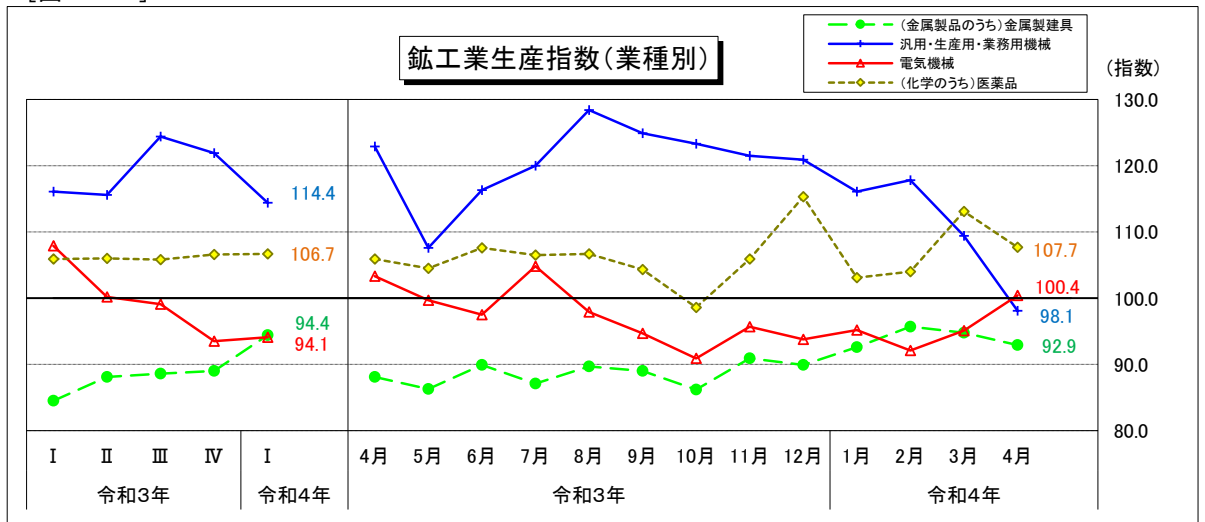
[図 10]



※27年基準、pは速報値

[経済産業省、中部経済産業局、富山県統計調査課]

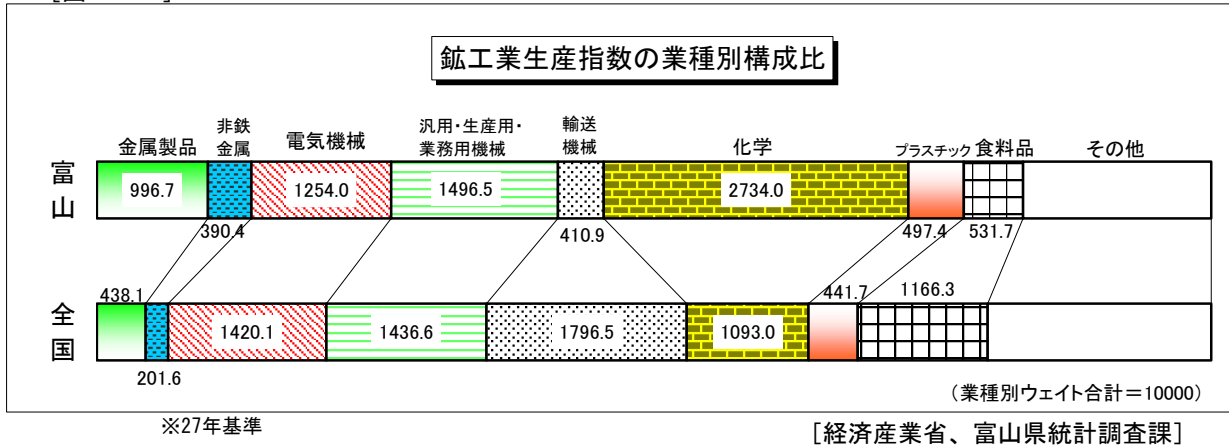
[図 11]



※27年基準

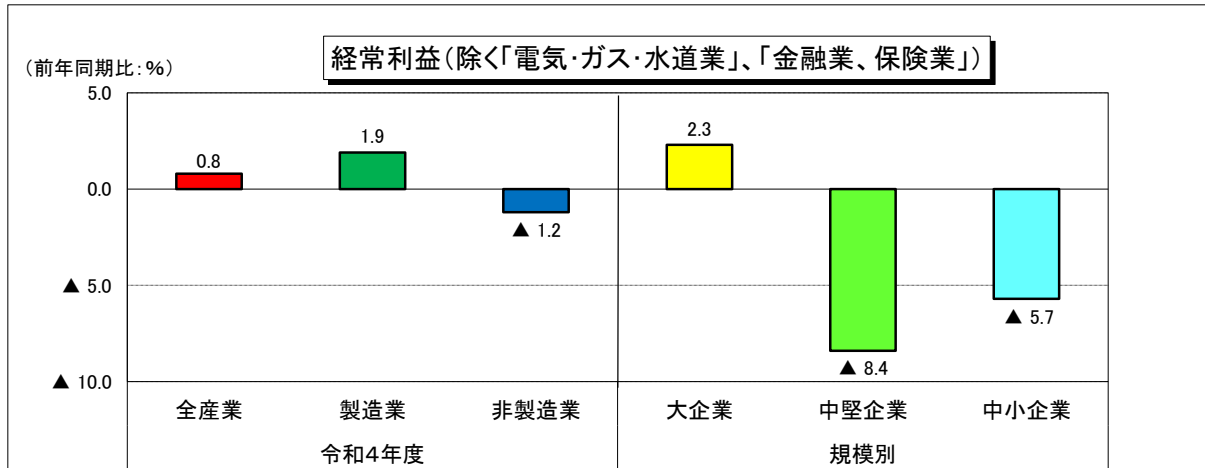
[富山県統計調査課]

[図 1 2]



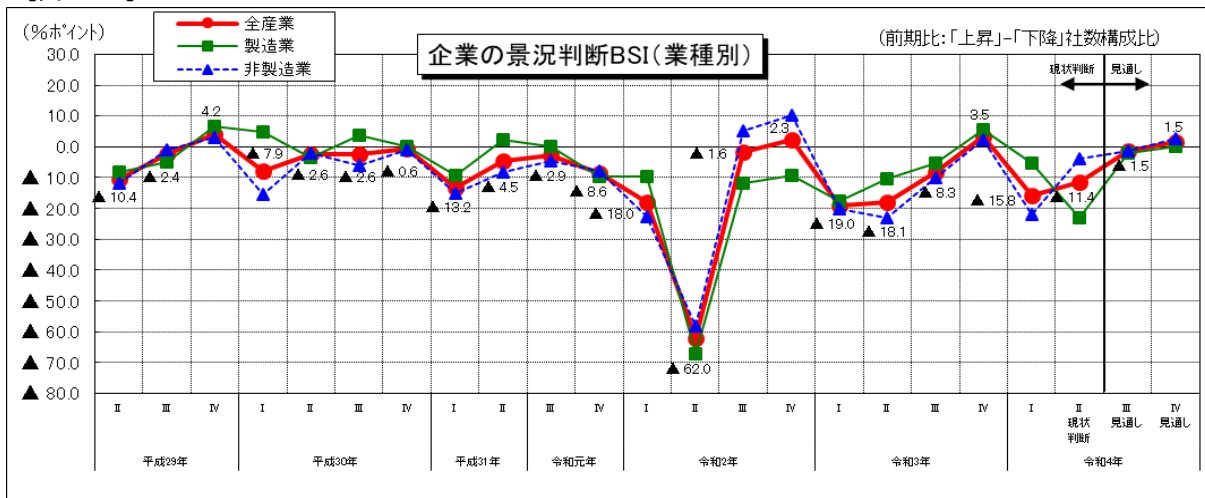
【企業収益】4年度は増益見込みとなっている。

[図 1 3]

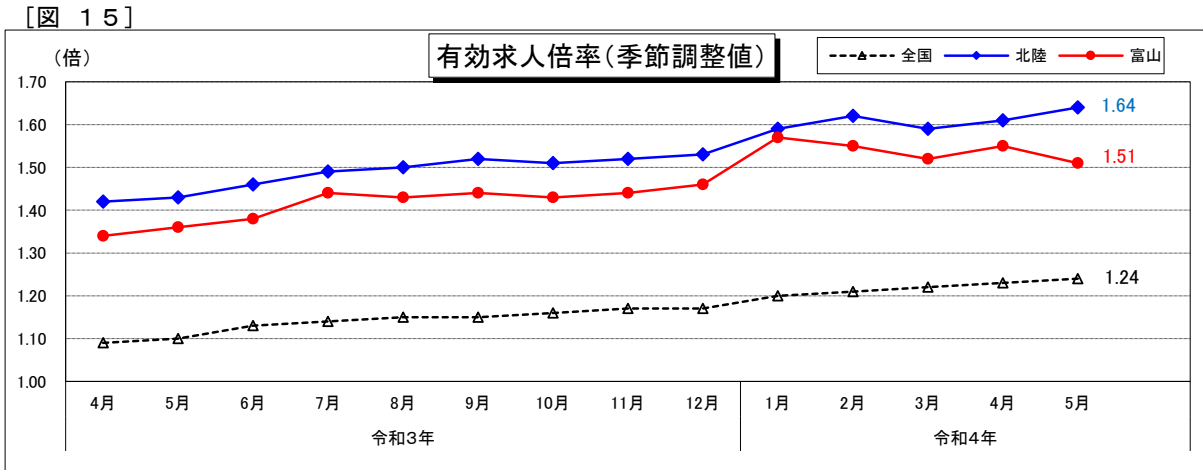


【企業の景況感】全産業では「下降」超となっている。

[図 1 4]

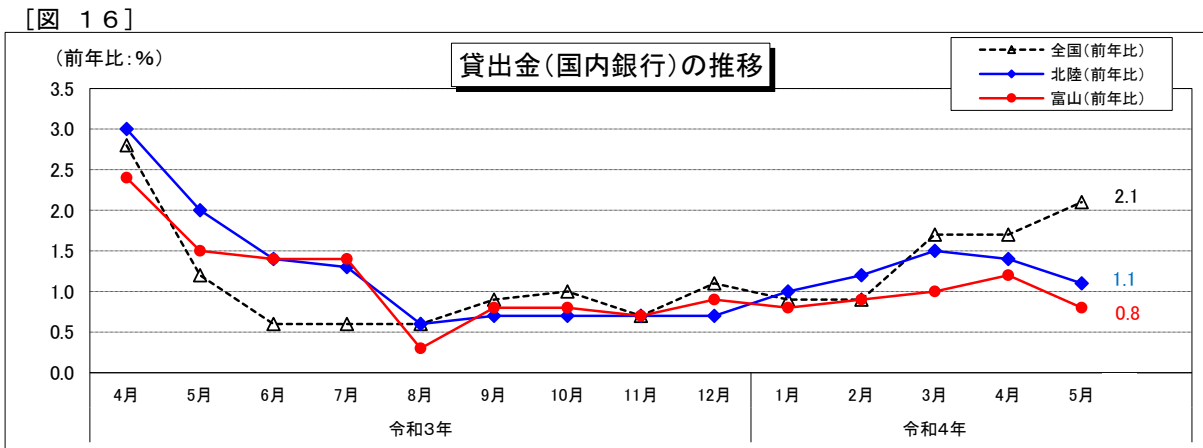


【雇用情勢】 緩やかに持ち直している。



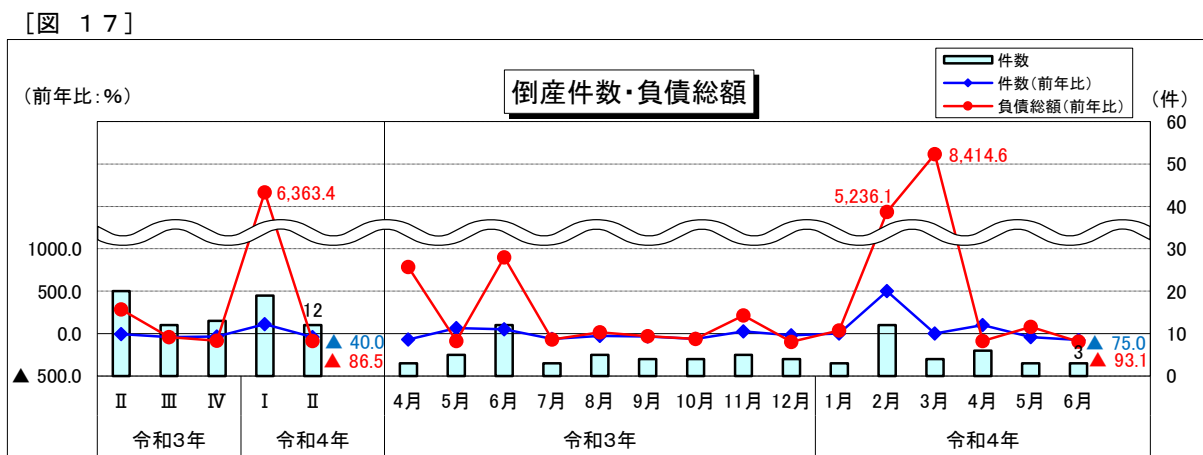
[厚生労働省、富山労働局、北陸財務局]

【金融機関の貸出金】 前年を上回っている。



[日本銀行]

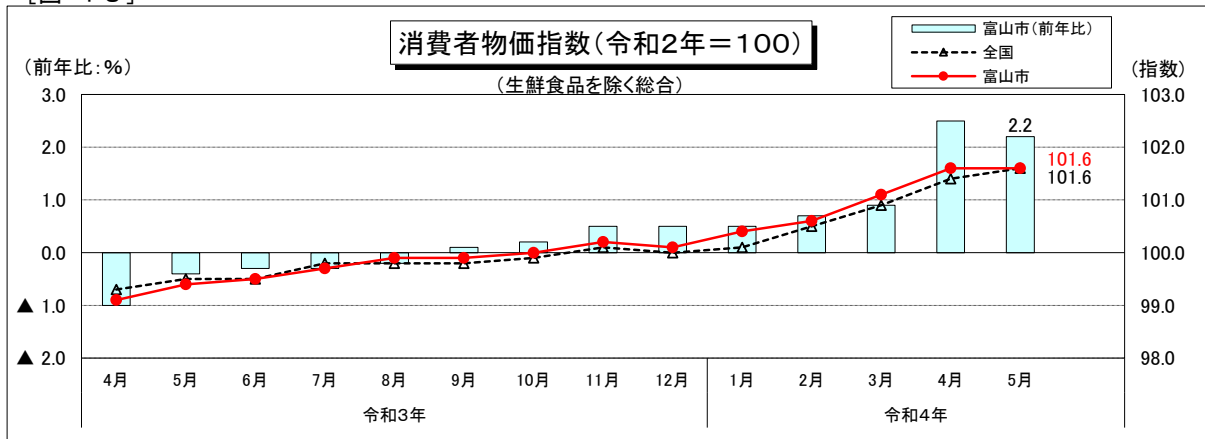
【企業倒産】 前年を下回っている。



[株東京商工リサーチ]

【消費者物価】前年を上回っている。

[図 18]



[総務省、富山県統計調査課]

【注記】

- (1) 図6については、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会の計数を基に北陸財務局において前年比等を算出している。
- (2) 図6、8、9については、出所において四半期分の計数が公表されていないため、北陸財務局において各月分の計数を集計し四半期分を算出している。また、図17については、北陸財務局において前年比及び四半期分を算出している。
- (3) 図10については、当所において後方3か月移動平均を算出している。
- (4) 図15については、北陸は、北陸財務局において石川県、富山県、福井県の有効求人数、有効求職者数(季節調整値)を合算して試算している。
- (5) 図16については、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。富山は、県内に店舗を有する国内銀行である。
銀行勘定を集計したもので、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。前年比は北陸財務局において算出している。